

静岡市監査委員会議記録

会 議 令和5年度 第1回 監査委員定例協議会

開催日時 令和5年5月9日(火) 午前9時05分～午前11時20分

出席者 監査委員 遠藤 正方、白鳥三和子、畑田 響、後藤 哲朗
事務局長 萩原 健
書記 杉田 陽子
山田 和誠、渡辺 篤史、蝦名 倫代
宇佐美亜希、齋藤 升美、神山 悟
新海 拓也、山本 和延、稲葉 典子

会議内容

1 開会宣言 杉田次長

2 例月現金出納検査等(3月分)

杉田次長から、事務局で実施した企業会計のつり銭資金等の現金在高検査の結果について、出納事務の重要な点において概ね正確に行われていた旨の報告並びに病院事業会計及び水道事業会計を対象とした棚卸資産実地検査並びに各種会計の有価証券等検査の結果について、いずれも適正に処理されていることが確認された旨の報告があり、山田次長補佐から、各会計とも、検査調書に記載されている預金残額と通帳類などの実物を事務局職員が照合した結果、一致していることが確認された旨の報告があった。

その後、各会計の区分に応じて、監査委員による説明聴取や質疑のほか、事務局から預金証書等の確認状況の報告を行った。

なお、病院事業会計では3月分例月現金出納検査調書の説明に先立ち、清水病院事務局医事課長から、2月末時点の実際の現金在高と2月分例月現金出納検査調書の現金残高との間に相違があったことの説明があった。

(1) 説明者等

ア 各種会計 宇佐美係長(監査第2係)

イ 病院事業会計 清水病院事務局長、病院総務課長、病院施設課長、医事課長

ウ 簡易水道事業会計 保健衛生医療部長、保健衛生医療課長、保健衛生医療課簡易水道担当課長、保健衛生医療課市立病院・公営企業担当課長、上下水道経営課長

エ 水道事業会計 上下水道経営管理部長、上下水道経営課長、お客様サービス課長

オ 下水道事業会計 上下水道経営管理部長、上下水道経営課長、

(2) 発言等

ア 例月現金出納検査等

(白鳥委員)

有価証券検査を3月24日と28日の2日間に分けて実施しているところ、このような検査は同時性が重要であるが、どのように実施しているか。

(事務局)

証明書の送付が遅れていた1件についてのみ確認が3月28日となったが、それ以外のものについては全て3月24日に確認している。

イ 各種会計

(白鳥委員)

資料について、金融機関別預金額内訳書と金融機関別預金額内訳書付属資料は内容として何が違うのか、有価証券について摘要欄の何年かというのを確認するための資料ということか。

(事務局)

金融機関別預金額内訳書付属資料は金融機関別預金額内訳書の更に明細のような資料で、金融機関の残高証明書に代わるものとして根拠資料として添付されているものである。

(白鳥委員)

残高証明は金融機関がしてくれるものだと思うが、この資料は会計室で作成しているものか。

(事務局)

会計室作成のものではあるが、詳細として2つの資料で確認をしている。

(白鳥委員)

摘要欄にある記載は必要になるものであるため、やはり必要な資料であると思われる。

(白鳥委員)

有価証券の残高証明は別途金融機関別預金額内訳書と照合しているのか。

(事務局)

残高は、実査において証書と取引残高報告書で確認している。

ウ 病院事業会計

(白鳥委員)

日ごとに現金を締める際の管理状況を教えてほしい。

(清水病院事務局)

現金は毎日照合、確認を行っており、帳簿上の数字と一致している。

今回の説明は、実際に保管している現金と帳簿との間に相違が生じていたということではなく、2月分の例月現金出納検査調書の現金の数字が本来は減っていなければならないところ、その処理を電算処理システム上反映できなかったということである。

なお、この相違については3月に解消しており、決算数字上の現金は一致していることを確認している。

(白鳥委員)

資金予算表の一般会計出資金について、当月執行済額に3,900万円が計上されており、4月予定にも同額が計上されているが、4月に再度資本金を出資する計画になっているのか。

(清水病院事務局)

確認する。

(白鳥委員)

預金支出内訳書の医業外費用のうち賠償及び償還金 373 万円余は、試算表のどの科目に入ってくるのか。

(清水病院事務局)

試算表では先月の雑損失に含まれており、未払金に計上されていたものが当月執行されたため預金支出内訳書に記載されている。

(遠藤代表)

決算見込状況報告の中で、退職者が増えたということだが、それは看護師であるか。

(清水病院事務局長)

主に看護師である。

(遠藤代表)

補充はできているのか。

(清水病院事務局長)

毎年新規募集を行っており、今回 30 人程度確保する予定であるが、それだけでは足りないため、随時募集により対応していきたいと考えている。

(遠藤代表)

例年より退職者が多かったということだが、採用は例年並みで現在人員が不足している状態ということか。

(清水病院事務局長)

そのとおりである。今年に関しては、看護師の派遣や会計年度任用職員の任用による対応のほか、外来の効率化を図ることで外来の看護師を減らす対応をしている。

(遠藤代表)

現金在高検査で発覚した事象については、係全員で対応するのはもちろんであるが、公的機関に対する対応について、気付かないから遅れるということがないよう、課長のリーダーシップの下で課として職員が不在でも対応できるようにしていただきたい。

また、今後の対応として、印紙及び切手に余裕を持たせて管理を行っていくとのことであるが、受払簿等により適切に管理をしていただきたい。

エ 簡易水道事業会計

(遠藤代表)

決算見込みについては、一般会計からの補助金を見込んで報告されたと思うが、補助金を除いた実質見込みはいくらになるのか。

(保健衛生医療課)

一般会計からの補助金はおよそ 8,400 万円程度となっている。

(遠藤代表)

収入見込みから 8,400 万円程度差し引けばよいということか。

(保健衛生医療課)

そのとおりである。

オ 水道事業会計

(白鳥委員)

水道事業会計の有価証券の検査も現金在高検査の時に行っているのか。

(事務局)

決算審査において確認を行っている。

カ 下水道事業会計

(白鳥委員)

1 ページに記載の負債勘定の建設改良分企業債及びその他の企業債の合計30億7,500万円余に対し、5 ページに記載の当月執行済額の企業債償還金は45億3,600万円余であり、その差が生じているのはなぜか。

(上下水道経営課)

前月に支出命令をした企業債償還金14億6,000万円余について、実際に資金が動いたのが3月になったことによるものである。

3 協議会議事

(1) 協議事項

ア 協第1号 令和4年度各種会計歳入歳出決算及び基金運用状況審査実施計画の策定について

(ア) 説明者

宇佐美係長

(イ) 要旨

議案集により説明

なお、本議案の説明に伴い、令和5年3月30日の定例協議会で決定した公営企業会計決算審査実施計画及び内部統制評価報告書審査実施計画に記載された講評への出席者等を本議案と同様の内容に修正することについての説明があった。

(ウ) 発言等

特になし

(エ) 結果

遠藤代表監査委員から承認の可否について諮ったところ、全員一致で承認された。

イ 協第2号 令和4年度井川財産区会計及び両河内財産区会計歳入歳出決算審査実施計画の策定について

(ア) 説明者

宇佐美係長

(イ) 要旨

議案集により説明

(ウ) 発言等

特になし

(エ) 結果

遠藤代表監査委員から承認の可否について諮ったところ、全員一致で承認された。

ウ 協第3号 令和4年度決算に基づく財政健全化審査実施計画の策定について

(ア) 説明者

宇佐美係長

(イ) 要旨

議案集により説明

(ウ) 発言等

特になし

(エ) 結果

遠藤代表監査委員から承認の可否について諮ったところ、全員一致で承認された。

エ 協第4号 令和4年度決算に基づく公営企業経営健全化審査実施計画の策定について

(ア) 説明者

宇佐美係長

(イ) 要旨

議案集により説明

(ウ) 発言等

特になし

(エ) 結果

遠藤代表監査委員から承認の可否について諮ったところ、全員一致で承認された。

(2) 報告事項

ア 報第1号 内部統制の不備に関する報告（令和5年3月分）について

(ア) 説明者

新海係長

(イ) 要旨

報告事項により説明

(ウ) 発言等

特になし

イ 報第2号 代表監査委員の職務を代理する監査委員の指定について

(ア) 説明者

遠藤代表監査委員

(イ) 要旨

報告事項により説明

(ウ) 発言等

特になし

(3) その他連絡事項

ア 令和4年度第12回定例協議会議事録の公表について・・・・・・・・山田次長補佐が説明

イ 5月・6月の日程について・・・・・・・・杉田次長が説明

4 閉会宣言 杉田次長